

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2(BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCB_2010bpi&bei(v.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	相模原運輸区乗務員詰所	階数	地上5F
建設地	相模原市緑区橋本三丁目350番4の一部外	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年12月 予定	評価の実施日	2014年7月22日
敷地面積	1,609 m ²	作成者	㈱ジェイアール東日本建築設計事務所
建築面積	763 m ²	確認日	2014年7月23日
延床面積	3,420 m ²	確認者	㈱ジェイアール東日本建築設計事務所

外観/バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したもので9(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	用途に必要な最低限を考慮し、過剰な設備を用いていない。	その他 特になし
Q1 室内環境	事務室は全般照明で照度750 lx以上を確保している。センサーでの自動制御+手元SWでの調光制御 建材を用いた 換気方式は、居室ごとに全熱交換器付換気扇を設置し、第一種換気で計画。 換気量は、30m ³ /h・人で計画。	Q2 サービス性能 非常用発電機設置。引込の二重化。浸水の危険性なし。通信手段の多様化。NTT回線、JR回線による二重化。浸水の危険性なし。
Q3 室外環境(敷地内)		特になし
LR1 エネルギー	BPI _m = 0.75 ERR = 29	LR2 資源・マテリアル 省水器具の採用
		LR3 敷地外環境 積極的な省エネルギー機器の採用

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される